

第 19 回 新潟 CT テクノロジー研究会を終えて

去る 7 月 15 日、19 回目となる新潟 CT テクノロジー研究会が開催されました。対面による開催は 4 年ぶりということで、はたしてどれだけの方が現地に来てくれるのか、会が始まるまで不安な気持ちでございました。ふたを開けてみれば、約 100 名という沢山の参加があり、当会への信頼と CT を志す技師の絆を感じました。

全体のテーマは「そのひと手間が結果を変える！ルーチンに $+\alpha$ な知識」とさせて頂きました。日常の忙しい業務の中でいつもの様に検査を行うだけではなく、新たな知識を得てより良い検査ができるように挑戦してほしい、という気持ちでテーマを設定しました。

シンポジウムは「成功から学ぶ」として、4 名のシンポジストの方々から発表して頂きました。放射線技師として高いモチベーション・強い信念をもって業務を行うには、成功体験が絶対的に必要になります。その経験や方法を習い、成功体験を共有したいと考えました。シンポジストの積み重ねてきた知識や発想は非常に勉強になり、ぜひ自施設に持ち帰って実践したくなる内容でした。

教育講演は藤田医科大学病院の後藤光範先生より、イノベーションについて・画質の評価方法・評価の意味について講演して頂きました。特別講演は秋田県立循環器・脳脊髄センターの大村知己先生より、脳卒中の診断、治療、施設背景について・手術支援を行うための知識、3D 画像作成技術について講演して頂きました。画質評価と臨床知識は質の高い検査を行うための両輪だと考え、お二人の先生をお呼びしました。専門分野に特化した内容であり学びの深い講演をして頂きました。

地方研究会としてはチャレンジ的な対面のみによる開催・今回のテーマの根本にある挑戦と成功体験から次への一歩・後藤先生の「イノベーション」について・大村先生の講演にあった「成長と変革」というワード、これらから新しいものへ前進することの大切さへのメッセージが皆様に届いていれば幸いです。

最後になりますが、シンポジストの先生方、講演して頂いた先生方、共催の GE ヘルスケアファーマ株式会社様、そして参加者の皆様へ研究会が成功に終わったことを厚く御礼申し上げます。次回は 20 回目という節目の新潟 CT テクノロジー研究会となります。より洗練された会になるよう世話人一同精進して参りますので、皆様期待してお待ちしてください。

当番世話人 長岡中央総合病院 松田直樹